

足助ギャラリー&お笑い・オン・ステージ開設



平成25年夏、北校舎1階の生徒玄関をくぐったトイレ前のスペースに足中ギャラリーを新設しました。生徒数減少により下駄箱を撤去したスペースが空いていましたが、そこに幅7m、奥行き3mの職員手作りのミニステージを作ったのです。普段は、生徒企画の個展やグループによる展示場として、またあるときは、ミニイベントのステージとして活用する予定です。当面、合唱コンクールの練習場としても使用します。

生徒たちの新たな才能の発掘の場となることを願っています。

足助中学校 校長 藤嶋力央



—編集後記—

今回はあすけチャレンジWEEKで豊田市役所足助支所に来ていただいた足助中学校の生徒達も記事を書きました。そもそもあすけチャレンジWEEKとは、平成17年から始まった足助中学校の職場体験のことで、生徒が地域の課題への関心を高めるとともに、体験学習の参加によって将来の生き方について幅広く考える意欲や態度を育てるという目的で活動を行っていらっしゃいます。今年度は中学2年生の生徒77名が8月上旬に足助地区の各事業所で活動しました。

足助支所に職場体験として活動をしてくださった川合さんと佐林さんはあいま〜るに乗って地元の方にインタビューをしたり、各施設の見学、足助の将来について考えるなど様々な活動をしました。あすけチャレンジWEEKの記事の内容、写真、レイアウトは全てお二人で作成したものです！将来の足助の担い手である彼女達に期待を膨らませつつ、これからの足助が楽しみになった一週間でした。またご感想・ご要望等ございましたら、下記のメールアドレス等にご連絡いただきたいです。よろしく願い致します。

あすけ通信/vol.6

足助の秋のお祭り



みんなで
出かけよう！

2013 お宝体験隊（足助の町並み商店街）

9月22日(日) 8:30～

テーマ「足助の町並み再発見」、100年前の写真をヒントに足助今昔クイズ、ザリガニ釣り・足助あん巻き作りなど。要事前申込(先着順)。問い合わせは足助商工会(62-0480)

足助まつり（足助八幡宮、足助の町並み一帯）

試楽祭 10月12日(土) 本楽祭 10月13日(日)

曳廻しや鉄砲隊など魅力満載！

あすけ夢里まつり（三州足助屋敷前広場）

10月19日(土) 10:00～

自然豊かな足助に現れた一日だけの夢の里～夢里収穫祭～

山里あすけ体育祭（足助グラウンド）

10月20日(日) 8:30～

足助の恒例行事！レク・バレーボールで親睦を深めましょう！要事前申込。問合せは足助スポーツクラブ事務局まで。

足助地区ふれあいまつり同時開催足助商工まつり（足助交流館周辺）

10月27日(日) 9:00～

足助地区活動団体による芸能発表、バザー、イベントなど。商工まつりでは、足助小学校プラスバンドパレード、青空市、もち投げ、おたのしみ抽選会などを開催。

香嵐溪もみじまつり（香嵐溪広場など）

11月1日(金)～12月1日(日) 開催。

日没～午後9時まで飯盛山のもみじをライトアップ。昼の香嵐溪とはひと味違った幻想的な雰囲気を楽しめます。また、土日を中心に楽しいイベント満載で、多くの人で賑わいます。

ふれあいフェスタ冷田（冷田小学校運動場）(表紙写真)

11月10日(日) 8:30～

恒例の冷田ウォーク！「野林の炭焼き小屋」や「薬師堂」などを巡るコースをウォーキング。豚汁・つくたて餅・おしるこなどを用意。参加費は500円。

あすけ通信

あすけ通信ではBlog、Twitter、Facebookもやっています!!ぜひ一度ご覧になってください!!足助の魅力が満載ですよ☆「あすけ通信」で検索!!

発行 あすけ通信編集委員会事務局
豊田市役所足助支所内
(豊田市足助町宮ノ後26-2)
電話 0565-62-0601
E-mail asuketsushin@city.toyota.aichi.jp

足助とつながる情報誌

あすけ通信

第六号

2013

お品書き

—足助から—
見守る背中

—BBQの集い in 冷田&同窓会—
お盆の期間に同窓会などが開かれました

—あすけチャレンジWEEK—
足助中学校の生徒が20年後の足助について考えました

—足助中学校校長先生より—
足中ギャラリー オン・ステージ開設

—足助の秋のお祭り—
足助は秋もイベント盛り沢山!



BBQの集い in 冷田&同窓会



お盆のシーズン、足助村では各年代の同窓会が行われ、大いに賑わいを見せました。また8月10日(土)には炎天下の中、BBQの集い in 冷田が開催され、地区出身の若者を中心に30名が参加しました。繋がりを深め、地区の良さを意識する良い機会となりました。(す)



～あすけチャレンジWEEK～



足助中学校2年生
川合 佑菜 さん(左)
佐林あやめさん(右)

足助の定住対策、過疎対策について考えるため、新盛地区の「すげの里」へ行き、足助の20年後について考えました。



私たちは、今回5日間のあすけチャレンジWEEKで足助のことを学び、足助の20年後について考えました。私たちの住む足助は20年後には少子高齢化が進行し、足助に不便を感じ都会に引っ越してしまう人や、仕事の関係で足助を離れていってしまう人が増え、さらに人口も減少しているだろうと予測しました。それに伴い起こる、学校数の減少、商店街の衰退などの様々な理由が重なり、足助から活気がなくなってしまうのではないかと思います。そこで私たちは、今の現実を踏まえ、20年後の理想の足助、その理想に近づくためにどうすればよいかを考えました。足助には、季節の祭りやたんころりん、香嵐溪といった自慢できるものがたくさんあります。また、地域みんなが仲良く、人柄が温かいのも足助の魅力です。そんな足助に一度でも足を運んでもらい、足助の温かさに触れてもらえれば、足助にまた行きたいと思ってもらい、人を呼ぶことが出来ると思います。

足助に残る、昔からの伝統を大切にしつつ新しいことも積極的に取り入れ、みんなでこれからの足助を作っていくこと、足助の自慢になるものをこれから先も私たちが次の世代へと残していくことが、20年後の足助を今より活気のある町にするために、必要だと思いました。